

日本天文学会会員の皆様

2004年10月20日

日本天文学会理事長 松田卓也

すでに秋季年会会場、tennet等でもご案内いたしましたが、このたび本会会員でありますJose Ishitsuka氏(国立天文台研究支援員)が中心となってペルーに電波望遠鏡の新設を計画しております。望遠鏡自体は、衛星通信用の32mパラボラアンテナを改修することですが、初期運用経費が大幅に不足しています。

そこで国立天文台の井上允氏が代表となり、ペルーの電波望遠鏡を支援する会が立ち上がっており、募金活動を行っています。表面にあります趣意書、また、この後にありますIshitsuka、井上両氏の報告をご参照下さい。

日本天文学会といたしましても、この募金活動を積極的に支援していくこととなり、多くの会員の皆様には、すでに年会受付や総会会場、懇親会会場、またtennetを通じまして募金にご協力をいただきました。ありがとうございます。

しかし残念ながら、未だ初年度分の運用経費550万円という金額には遠く及んでいないのが現状であります。今一度、ペルーの天文学のおかれている厳しい状況を鑑み、会員の皆様の財政的ご支援、ご協力を是非ともお願い致します。

本誌に郵便振り込み用紙が綴じ込んであります。

ペルーの電波望遠鏡を支援する会からお礼とご報告

募金活動を始めたのが野辺山宇宙電波観測所の特別公開日である8月21日、それから2ヶ月間で、天文学会年会会場での募金や郵便振り込みによって、下に挙げました金額をご寄附いただきました。この場をお借りして皆様にお礼を申し上げると共に募金活動の状況をご報告致します。まだまだ年間運用経費550万円の初年度分の目標金額までは程遠いと感じていますが、皆様のご協力と応援の言葉等で乗り切る力が湧いてきます。

幸いマスコミ関係にも、9月14日の読売新聞、続けて9月19日の読売新聞の英語版The Daily Yomiuri、そして10月2日に朝日新聞の夕刊に取り上げていただきました。幅広い多くの方々に興味を持っていただけてうれしく思っています。期待に答えて努力していく所存です。今後とも皆様のご支援よろしくお願い致します。

[皆さまからお寄せ頂いた募金の状況]

2004年8月21日：2004野辺山宇宙電波観測所の特別公開	44,541円
2004年9月21日～23日：2004年秋の天文学会	138,031円+US\$10
2004年10月23日：国立天文台三鷹キャンパス特別公開	13,838円
郵便振替口座への振り込み：	452,950円
直接寄付金を受領した：	32,474+100ユーロ
2004年11月4日までの合計	681,834円+US\$10+100ユーロ

ペルーの電波望遠鏡を支援する会 Jose Ishitsuka、井上 允（代表）

趣 意 書

南米ペルーで電波望遠鏡を動かすための運用経費が不足しています。
ぜひ募金をお願いします。

南米ペルーのアンデス山脈にある高原都市ワンカイヨ(海拔3,370m)は、美しい山々に囲まれた谷間にあります。この郊外には既に役割を終え、休止中の衛星通信用の32mパラボラアンテナがあります。これを電波望遠鏡として活用しようという計画がペルーと日本の科学者により進められています。

このアンテナは2004年中にペルー民間電話会社からペルー地球物理観測所(IGP)へ移管される予定です。現在はIGPおよびペルー大学関係者と日本の国立天文台および大学関係者とが協力して、有力な電波望遠鏡への改造が検討されています。これにより南半球では数少ない大型望遠鏡の一つとして利用する事が可能になるのです。予算上の制約から、まずは必要最低限の設備投資と改修を行い、電波天文観測が可能な状態にします。それと並行して観測・運用グループの組織・育成を行います。単一望遠鏡として一つの波長帯での観測実績を出した後、次のステップとして、VLBI観測(世界各地のアンテナを使用した同時観測をもとに行う高分解能電波マッピング)や多波長帯観測のための受信器等の整備拡張を行う予定です。

国立天文台は望遠鏡の改造に必要な機材の支援は出来ませんが、ペルー側で負担することになっているアンテナ局の運用経費(年間約5万ドル、日本円にしておよそ550万円)の目処はまだ経たない状況です。

計画の中心人物であるIGPの石塚睦(74歳)博士は47年前に日本よりペルーへ渡り、天文学の定着に努力し続けてきた人です。博士はペルーをとり巻く現状について心配しています。

「学問を育てるには相当な経費と努力が必要になる。このような観測設備を新設するならば最低でも10～20億円が必要となる。32m級の電波望遠鏡を無償で譲り受けられるチャンスを見逃したら一生後悔するだろう、せっかくペルーに電波天文学が生まれようとしているのに、」。

我々日本の有志としても、是非ともペルーが世界の天文学に参加するこの計画を実現させたいのです。石塚博士のペルーにおける長年の情熱を応援すると共に、またこの新たなチャンスに対して皆様方の暖かなご支援をどうかお願い致します。

募金単位：一口 1,000円(金額の多寡に関係なくご協力下さい。)

郵便振替口座番号：00130-9-629889(こちらで振込手数料負担)

口座名義：ペルーの電波望遠鏡を支援する会

ペルーの電波望遠鏡を支援する会代表 井上 允(国立天文台)

ホームページ：http://www.geocities.jp/peru_32m_antenna/